

## 長野市権堂地区再生計画（改定案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の結果について

### 1 趣旨

平成24年の策定以来、取り組んできた事業の成果や課題を踏まえて、これからの状況変化に対応していくため、「権堂地区再生計画」の見直しを進めてきました。市民アンケートやワークショップを参考に議論を重ね、この程、取りまとめられた計画案に対して市民の皆様からご意見等を募集（パブリックコメント）しましたので、その結果をお知らせするものです。

### 2 募集期間

平成29年9月1日（金）から平成29年9月22日（金）まで（22日間）

### 3 募集方法

長野市ホームページ、広報ながの8月号への掲載及び長野市役所市街地整備課・行政資料コーナー・各支所の窓口において計画（案）を公表し、書面又は電子メール等でご意見等を募集しました。

### 4 募集結果

#### (1) 意見・提案等の提出者数

8人

#### (2) 意見・提案等の件数

8件

#### (3) 提出方法の内訳

直接提出：3件、郵送：2件、ファクシミリ：1件、電子申請：2件

### 5 意見等に対する市の考え方

区分	対応方針	件数
A	計画案を修正・追加する。	
B	計画案に盛り込まれており、修正しない。	1
C	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。	4
D	検討の結果、計画案に反映しない。	
E	その他（質問への回答、状況説明等）	3
	合計	8

No.	案の該当箇所		意見等の概要	市の考え方	プランへの反映状況	
	頁	項目			区分	対応方針
1	*	計画全般について	長野市ガイド協会では、100名の会員のうち20名が実際にガイドコースを作成して案内をする中で、表参道沿いの空き店舗や、ゴミのポイ捨てが問題と感じ、実際に全員で清掃活動を行った。 <u>今後もガイド協会は権堂地区再生計画に協力していきたいと思う。</u>	計画に賛同し、実際に様々な活動をしていただいている大変感謝しています。今後も協働していける事業やイベント等があると思いますので、引き続きご協力をお願いします。	E	その他（質問への回答、状況説明等）
2	*	計画全般について	計画案に賛成する。ただし、 <u>これまでの事業に関する長野市の支出や収入を公表し、今後の事業に税金を使わないでほしい。</u>	事業の支出や収入の内容は、今後とも、市議会等へ報告してまいります。 今後の支出については、官民協働のまちづくりや持続可能なまちづくりを推進する上で、不可欠であるとする事業において、十分な検討のもと、慎重に判断してまいります。	C	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
3	*	計画全般について	同規模の地方都市と比べて、まちなかにまともな市場がないので、コンビニエンスストアが乱立している。 <u>食文化のレベル向上とともに伝統工芸等のソフトに力を入れて、観光客も楽しめるまちにするべきである。</u>	提案事業2「特色ある物販・飲食の展開」や、提案事業3「みち空間の整備」に示したとおり、飲食店等の特色の向上に取り組み、権堂地区として、市民や観光客を誘引する魅力づくりを進めてまいります。	C	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
4	*	計画全般について	権堂地区は公共交通が整い、周辺にはマンション建設も続いており、 <u>集約型都市へ向け重要な計画である。</u> 国や他市に左右されず、しっかりと未来を見据えて積極的に取り組んでほしい。	「都市計画マスタープラン」等の上位計画や、ご指摘の優れた都市環境等を踏まえ、「住みやすさを追求し、人を集める」「街の魅力を高め、賑わいを創出する」ことを目標とし、その中で「権堂らしさ」を見極め、更に高めることをまちづくりの基本方針や方策に定めており、これらを推進することにより、集約型都市構造の実現に結びつくものと考えております。	B	計画案に盛り込まれており、修正しない。

5	*	計画全般について	<p>活性化の一つのきっかけとなるよう、権堂イーストプラザ市民交流センターを会場として、「いーぷら癒しのマルシェ」を開催している。<u>行政のイベント、商店街のイベント、周辺施設等の点を線につなげられたら良い</u>と思う。</p>	<p>提案事業9「多世代の活動拠点の整備」に示したとおり、幅広い方々の拠点となる活動空間の提供を目指しています。 各提案事業の実施にあたっては、官民連携や事業間連携を図りながら、進めてまいります。</p>	E	その他（質問への回答、状況説明等）
6	*	計画全般について	<p><u>イトーヨーカドー（アリオ）の開発</u>を早急に進めてほしい。また、一般客や旅行者等を対象とした<u>駐車場を整備</u>してほしい。</p>	<p>提案事業4「大規模商業施設の整備」については、事業者の意欲や出店戦略が周辺の商業環境・生活環境・交通環境等に大きく影響を及ぼすものです。 従って、事業の実施にあたっては、クリアすべき課題として、地域住民をはじめ一般市民との合意形成にも配慮し、規模・経費・施設内容等については、実状に即した実現可能な事業計画であることが必要であるとして計画にも掲載しております。</p>	E	その他（質問への回答、状況説明等）
7	*	計画全般について	<p>賑わいを取り戻すのなら、自然と小さい店舗が集積することが最善である。 <u>権堂に大型商業施設が必要かどうか、市民にもう一度問うべき</u>である。</p>	<p>市街地での商業施設は、周辺の既存商業施設と共存共栄や補完関係が成り立ち、地域の良質な財産として、持続可能なまちづくりの実現に資するものであることが重要であると考えます。</p>	E	その他（質問への回答、状況説明等）
8	*	計画全般について	<p>今、<u>長野市の多くの消費者は大型商業施設を欲している</u>。反対意見も聞かれるが、どうすれば良いかの対案がない。このままでは、長野市の商業に大きな打撃を受けることが明白であり、<u>前向きに実現できる方法を考えることが大切</u>である。</p>		E	その他（質問への回答、状況説明等）